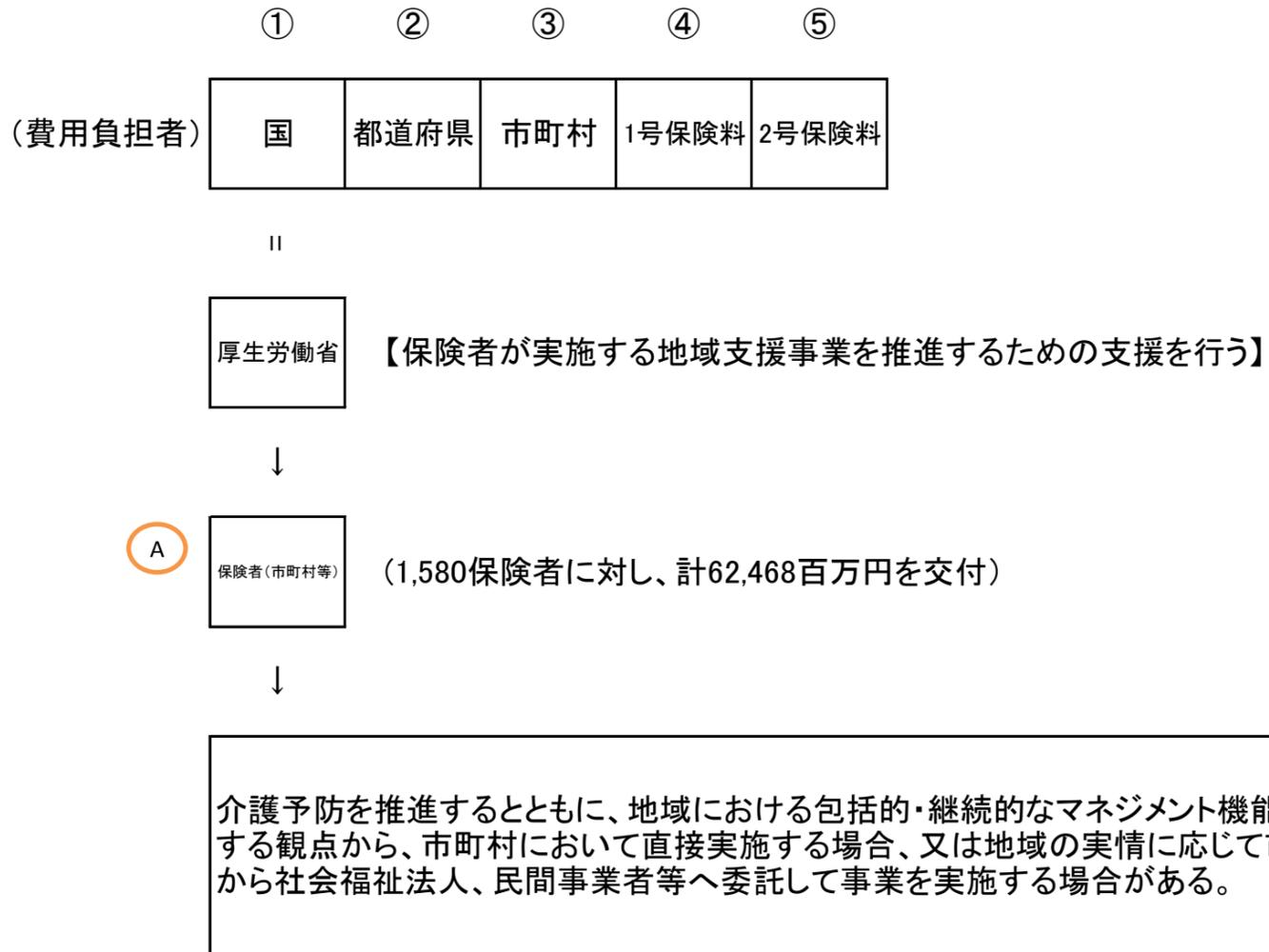


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	地域支援事業交付金	担当部局庁	老健局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度・未定	担当課室	振興課・老人保健課	振興課長 朝川知昭 老人保健課長 迫井正深			
会計区分	一般会計	政策・施策名	Ⅸ-3-1 高齢者の介護予防・健康づくりを推進し、生きがいづくり及び社会参加を推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	介護保険法115条の45 介護保険法施行規則第37条の13	関係する計画、通知等	地域支援事業実施要綱 地域支援事業交付金交付要綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	介護保険における被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態又は要支援状態となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう、介護予防事業、介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業及び任意事業を行うことの支援を目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○介護予防事業…要支援・要介護状態の予防、軽減、悪化防止のためのサービス提供等を行う事業を実施するもの。 ○介護予防・日常生活支援総合事業…要支援・要介護状態の予防、軽減、悪化防止及び地域における自立した日常生活の支援のための施策を総合的かつ一体的に行うもの。 ○包括的支援事業及び任意事業…地域包括支援センターを設置し、地域支援の総合相談、介護予防ケアマネジメント、包括的・継続的ケアマネジメント等を実施するとともに、地域の実情に応じた様々な任意事業を市町村において行うもの。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	69,792	64,170	64,170	62,335	63,109
		補正予算	▲5,674	▲2,000			
		繰越し等					
		計	64,118	62,170	64,170	62,335	63,109
		執行額	61,307	61,485	62,468		
	執行率(%)	96%	99%	97%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	二次予防事業に参加した者の健康観の状況 <small>(参加終了後に「よい」と同等した者数/参加前に「よい」と同等した者数が毎年100%以上)</small>	成果実績	%	164	166	調査中	(100%以上)
		達成度	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	二次予防事業参加者実人数 <small>(通所型介護予防事業+訪問型介護予防事業)</small>	活動実績 <small>(当初見込み)</small>	人	164,373	181,735	調査中 <small>(188,096)</small>	- <small>(194,679)</small>
	一次予防事業参加者延べ人数 <small>(介護予防普及啓発活動+地域介護予防活動支援事業)</small>	活動実績 <small>(当初見込み)</small>	人	10,442,061	8,780,835	調査中 <small>(9,088,164)</small>	- <small>(9,406,250)</small>
単位当たりコスト	○二次予防事業 37,995 (円 / 1人年間) ○一次予防事業 465 (円 / 1人1回)	算出根拠	【平成23年度実績】 ○二次予防事業 37,995円=交付金執行額(6,905百万円)÷二次予防事業参加者実人数(181,735人) ○一次予防事業 465円=交付金執行額(4,080百万円)÷一次予防事業参加者延べ人数(8,780,835人)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	介護予防事業又は介護予防・日常生活支援総合事業	12,429	10,792	執行実績を踏まえた要求額としている。			
	包括的支援事業および任意事業	49,906	52,318				
計	62,335	63,110					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	地域包括ケアシステム実現へ向け、国と地方公共団体が一体となって基盤整備を図っていくための義務的経費		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	法令上、地域支援事業に要する費用の一部を国が負担することとなっている。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	要介護状態となっても住み慣れた地域で生活していけるよう介護保険給付サービスを補完し、地域の実情に応じた地域包括ケアシステム構築へ向けた基盤整備のための重要な事業であり、優先度の高い事業となっている。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	介護予防事業の推進により要介護者等の増加を防止		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	交付要綱において交付対象経費を具体的に規定		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	概ね見込みにあったものとなっている		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>毎年度、交付先から提出される事業実績報告等により支出内容及び事業実施内容等を確認しているが、更なる事業の効率化を図るため、これまでの行政刷新会議の結果を踏まえた事業内容等の見直しも行っているところである。</p> <p>また、23年度の活動実績を見ると、二次予防事業参加者実人数については、前年度を上回っているため、引き続き事業内容及び執行実績を踏まえた予算額の精査を図ることとしている。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業については、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	534	平成23年	486	平成24年	429

図式



①～⑤の財源により、介護予防事業又は介護予防・日常生活支援総合事業を
 ※実施
 ①～④の財源により、包括的支援事業及び任意事業を実施

※平成24年度実績を記入

※地域支援事業費交付金事業の流れ

- 負担割合
- ・介護予防事業又は介護予防・日常生活支援総合事業
 - 国・・・25%
 - 都道府県・・・12.5%
 - 市町村・・・12.5%
 - 1号保険料・・・20%
 - 2号保険料・・・30%
 - ・包括的支援事業及び任意事業
 - 国・・・39.5%
 - 都道府県・・・19.75%
 - 市町村・・・19.75%
 - 1号保険料・・・21%

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

A.横浜市			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
介護予防事業費	要支援・要介護状態の予防、軽減、悪化防止のためのサービスの提供を行う事業にかかる費用	89			
包括的支援事業および任意事業	地域支援の総合相談、介護予防ケアマネジメント、包括的・継続的ケアマネジメント等の実施や、地域の実情に応じた様々な市町村の任意事業にかかる経費	1,582			
計		1,671	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	横浜市	介護予防事業・包括的支援事業及び任意事業	1,671		
2	大阪市	介護予防事業・包括的支援事業及び任意事業	1,465		
3	名古屋市	介護予防事業・包括的支援事業及び任意事業	991		
4	神戸市	介護予防事業・包括的支援事業及び任意事業	901		
5	京都市	介護予防事業・包括的支援事業及び任意事業	897		
6	札幌市	介護予防事業・包括的支援事業及び任意事業	625		
7	福岡市	介護予防事業・包括的支援事業及び任意事業	618		
8	北九州市	介護予防事業・包括的支援事業及び任意事業	603		
9	川崎市	介護予防事業・包括的支援事業及び任意事業	578		
10	福岡県介護保険広域連合	介護予防事業・包括的支援事業及び任意事業	549		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					